



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日
東

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所
コード番号 9438 URL <https://ir.mti.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンライン))

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	7,773	6.9	835	16.4	923	18.0	603	2.4
2025年9月期第1四半期	7,271	9.8	718	65.0	783	△1.2	589	△6.6

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 685百万円(4.2%) 2025年9月期第1四半期 658百万円(5.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年9月期第1四半期	10.87	—	—	—
2025年9月期第1四半期	10.69	—	10.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		
2026年9月期第1四半期	31,632		22,571		58.5
2025年9月期	33,347		22,446		55.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 18,510百万円 2025年9月期 18,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2025年9月期	—	9.00	—	10.00	19.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	15,000	0.8	1,400 ～1,600	△14.6 ～△2.4	1,450 ～1,650	△15.8 ～△4.2	780 ～920	△55.6 ～△47.6	14.06 ～16.58
通期	31,000	3.6	3,100 ～3,500	5.2 ～18.8	3,100 ～3,500	2.4 ～15.6	1,770 ～2,050	△48.0 ～△39.8	31.90 ～36.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	60,435,200株	2025年9月期	60,435,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	4,947,414株	2025年9月期	4,947,414株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	55,487,786株	2025年9月期1Q	55,079,832株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2026年2月10日 (火) にオンラインによる機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当該決算説明会の動画および資料は、当社IRサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2026年9月期 第1四半期の概況 (2025年10月1日～2025年12月31日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

売上高については、ヘルスケア事業および学校DX事業の売上伸張により7,773百万円（前年同期比6.9%増）となり、売上総利益については、売上高の増収により5,708百万円（同5.5%増）の増益となりました。

営業利益および経常利益については、売上総利益の増益により販売費及び一般管理費（販管費）の増加を吸収した結果、それぞれ835百万円（同16.4%増）、923百万円（同18.0%増）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益が増益となりましたが、前年同期に計上した特別利益の影響がなくなったことを主因に、603百万円（同2.4%増）となりました。

連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

	2026年9月期 第1四半期	2025年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	7,773	7,271	+501	+6.9
売上原価	2,064	1,860	+203	+10.9
売上総利益	5,708	5,410	+297	+5.5
販管費	4,872	4,692	+180	+3.8
営業利益	835	718	+117	+16.4
経常利益	923	783	+140	+18.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	603	589	+14	+2.4

販管費内訳(2025年10月1日～2025年12月31日)

	2026年9月期 第1四半期	2025年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	4,872	4,692	+180	+3.8
広告宣伝費	868	890	△21	△2.5
人件費	1,917	1,814	+103	+5.7
支払手数料	810	737	+72	+9.9
外注費	453	412	+41	+10.0
減価償却費	300	336	△36	△10.7
その他	523	501	+21	+4.2

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は323万人（2025年9月末比1万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』等の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高については、4,335百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

営業利益については、コスト削減を通じた販管費減少により、1,184百万円（同22.1%増）の増益となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

同事業の有料会員数は46万人（2025年9月末比1万人減）となりました。また、クラウド薬歴の導入店舗数は、中規模以上の調剤薬局への導入拡大に注力した結果、2025年12月末の同店舗数は4,166（2025年9月末比355増）と拡大しました。

売上高は、主にクラウド薬歴の売上高が拡大したことにより1,850百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

営業損失については、クラウド薬歴の収益が拡大する一方、薬局DXや子育てDX向けの開発費増加等により、152百万円の損失（前年同期は13百万円の利益）の減益となりました。

③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2025年4月からのクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数が累計1,067校（2024年4月比292校増）となり、その月額利用料収入が増加したこと、また、公立学校向け初期開発売上の拡大もあり、577百万円（前年同期比40.1%増）の大幅増収となりました。

営業利益については、売上高の大幅な増加に伴い、215百万円（同113.3%増）の大幅増益となりました。

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、AI事業が減収となった一方、法人向けDX支援事業の受注が堅調に推移したことにより、1,430百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

営業利益については、AI事業の減益を主因に、268百万円（同11.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は31,632百万円となり、2025年9月末対比1,715百万円減少しました。

資産の部については、流動資産では主に現金及び預金の減少により2,075百万円減少する一方で、固定資産では主にのれんの増加により360百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では主に未払法人税等および契約負債が減少したことを主因に1,695百万円減少し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより145百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益として603百万円を計上したことにより125百万円増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役となるヘルスケア事業および学校DX事業の売上拡大および収益拡大に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大に取り組むことにより収益維持を図っていきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施していきます。

クラウド薬歴については、調剤薬局からの導入意欲が引き続き高く、同事業の持続的な売上・利益成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディカルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。また、調剤薬局全体の業務効率化を総合的に推進するために、グループで展開する薬局DXの商材も含めた調剤薬局のクラウド化支援を積極展開することにより、さらなる収益向上に繋げていきます。

子育てDXについては、政府による母子保健情報のデジタル化推進が行われる中、母子手帳アプリ『母子モ』の自治体導入先をさらに拡大させるとともに、その導入先を中心に子育てDXサービスの拡販を強力に営業展開していくこと、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことを通じて、ヘルスケア事業の中で中長期的に利益貢献できる中核事業の一つに発展させるように取り組んでいきます。

女性向け健康情報サービス『ルナルナ』については、自治体の地域住民に対して同サービス『ルナルナ』を県単位で無償提供（約2年間）し、当該自治体の地域型成育を支えることを通じて、将来的な事業化に繋がれるよう取り組んでいきます。2025年10月には新潟県と女性の健康管理支援およびプレコンセプションケアの推進に関する連携協定を締結、2026年1月には宮城県とも同様の連携協定を締結したことを契機に、他の都道府県においても連携協定の締結を拡げていきます。

学校DX事業については、政府による都道府県域での校務DX推進が行われる中、これを成長機会として捉え積極展開していくことにより持続的成長の実現を目指していきます。クラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強く、2025年4月からの導入学校数は1,067校（2024年4月比292校増）となりました。従来は私立学校を中心に受注活動を展開していましたが、公立学校の受注活動にも注力し、さらなる売上・利益成長を図っていきます。

【業績予想数値の前提】

当社グループにおける未確定な新規事業や蓋然性の低いM&Aの影響等は考慮しておらず、業績予想の数値に織り込んでいません。今後、見通しと業績予想との間に乖離が生じ、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示します。

2026年9月期 第2四半期（中間期） 連結業績予想 （2025年10月1日～2026年3月31日）

	（百万円）	前年同期比（％）
売 上 高	15,000	+0.8
営 業 利 益	1,400～1,600	△14.6～△2.4
経 常 利 益	1,450～1,650	△15.8～△4.2
親会社株主に帰属する 中間純利益	780～920	△55.6～△47.6

2026年9月期 通期 連結業績予想 （2025年10月1日～2026年9月30日）

	（百万円）	前期比（％）
売 上 高	31,000	+3.6
営 業 利 益	3,100～3,500	+5.2～+18.8
経 常 利 益	3,100～3,500	+2.4～+15.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,770～2,050	△48.0～△39.8

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,816,556	15,358,733
受取手形、売掛金及び契約資産	4,085,621	4,498,090
その他	1,327,509	1,296,513
貸倒引当金	△17,046	△16,348
流動資産合計	23,212,641	21,136,988
固定資産		
有形固定資産	219,308	251,796
無形固定資産		
ソフトウェア	2,127,980	2,179,935
のれん	61,788	350,133
顧客関連資産	58,555	51,528
その他	227,530	221,496
無形固定資産合計	2,475,854	2,803,094
投資その他の資産		
投資有価証券	4,691,414	4,872,830
敷金及び保証金	280,563	293,642
繰延税金資産	2,393,184	2,205,687
その他	86,793	80,363
貸倒引当金	△12,004	△11,869
投資その他の資産合計	7,439,950	7,440,655
固定資産合計	10,135,113	10,495,546
資産合計	33,347,754	31,632,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,020,636	828,339
1年内返済予定の長期借入金	737,500	737,500
未払金	1,569,951	1,631,167
未払法人税等	894,150	135,430
契約負債	2,726,348	2,196,359
賞与引当金	—	245,962
その他	1,125,602	604,011
流動負債合計	8,074,190	6,378,770
固定負債		
長期借入金	956,250	771,875
退職給付に係る負債	1,825,742	1,865,347
その他	45,446	44,672
固定負債合計	2,827,438	2,681,894
負債合計	10,901,628	9,060,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,511,199	5,511,199
資本剰余金	6,317,535	6,317,535
利益剰余金	8,709,727	8,755,984
自己株式	△2,596,900	△2,598,172
株主資本合計	17,941,562	17,986,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,642	208,745
為替換算調整勘定	57,021	101,868
退職給付に係る調整累計額	219,696	213,258
その他の包括利益累計額合計	472,360	523,873
非支配株主持分	4,032,203	4,061,449
純資産合計	22,446,125	22,571,869
負債純資産合計	33,347,754	31,632,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,271,667	7,773,039
売上原価	1,860,870	2,064,498
売上総利益	5,410,796	5,708,541
販売費及び一般管理費	4,692,467	4,872,581
営業利益	718,328	835,959
営業外収益		
受取利息	44	83
為替差益	24,463	—
持分法による投資利益	43,617	106,570
その他	6,681	4,816
営業外収益合計	74,807	111,470
営業外費用		
支払利息	3,931	4,277
為替差損	—	17,808
外国付加価値税等	2,971	—
その他	3,128	1,573
営業外費用合計	10,031	23,659
経常利益	783,104	923,771
特別利益		
固定資産売却益	368	—
還付消費税等	88,507	—
特別利益合計	88,876	—
特別損失		
固定資産除却損	12	0
投資有価証券評価損	7,051	—
事業譲渡損	3,113	—
特別損失合計	10,176	0
税金等調整前四半期純利益	861,804	923,771
法人税、住民税及び事業税	273,260	102,484
法人税等調整額	△23,579	186,954
法人税等合計	249,680	289,439
四半期純利益	612,123	634,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,066	31,205
親会社株主に帰属する四半期純利益	589,057	603,126

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	612,123	634,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,497	2,499
為替換算調整勘定	33,915	44,533
退職給付に係る調整額	△4,041	△6,437
持分法適用会社に対する持分相当額	17,563	10,917
その他の包括利益合計	45,939	51,513
四半期包括利益	658,062	685,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	634,996	654,639
非支配株主に係る四半期包括利益	23,066	31,205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	4,214,762	1,480,025	338,389	1,071,007	7,104,184	—	7,104,184
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	28,410	9,326	73,643	56,102	167,482	—	167,482
顧客との契約から生 じる収益	4,243,172	1,489,352	412,033	1,127,109	7,271,667	—	7,271,667
外部顧客への売上高	4,243,172	1,489,352	412,033	1,127,109	7,271,667	—	7,271,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,678	2,928	—	314,862	367,469	△367,469	—
計	4,292,850	1,492,281	412,033	1,441,972	7,639,136	△367,469	7,271,667
セグメント利益	970,146	13,873	100,958	304,249	1,389,227	△670,898	718,328

(注) 1 セグメント利益の調整額△670,898千円には、セグメント間取引消去1,953千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△672,851千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	4,260,776	1,838,007	457,051	932,131	7,487,966	—	7,487,966
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	14,106	10,296	117,120	143,549	285,072	—	285,072
顧客との契約から生 じる収益	4,274,883	1,848,303	574,171	1,075,680	7,773,039	—	7,773,039
外部顧客への売上高	4,274,883	1,848,303	574,171	1,075,680	7,773,039	—	7,773,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,953	1,956	3,000	354,720	420,630	△420,630	—
計	4,335,836	1,850,260	577,171	1,430,401	8,193,669	△420,630	7,773,039
セグメント利益 又は損失 (△)	1,184,197	△152,111	215,355	268,789	1,516,230	△680,270	835,959

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△680,270千円には、セグメント間取引消去2,601千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△682,872千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	355,285千円	319,202千円
のれんの償却額	27,348千円	11,655千円